



■ シラバス登録 プレビュー



選択したシラバスのプレビュー画面です

平成30 年度

[操作ボタン](#)

講義科目名称：課題発見・解決演習（地域コミュニティ編）

授業コード：80215

英文科目名称：---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	演習	2単位	
曜日時限			
前期：曜無時無			
配当学科・学年			
文1、教育1、人間1			
担当教員			
植木 是、岡島 克樹、小林 末季代、松原 裕一			

授業テーマ	グループで地域における絆をテーマにした企画を立て、将来、社会人・市民として求められる基礎力を養う。
講義概要	今日の社会は急速に変化し、知識の賞味期限がこれまでになく早く訪れる時代が到来している。そのような社会にあつては、（過去や現在の研究者の研究成果である「専門知識」を学ぶことはなお大事なことであるが、同時に）自分で課題を探し、それをどのように解決するのか、他人と協働しながら考え抜き実施していく「社会人基礎力」あるいは「ジェネリックスキル」と呼ばれる技能がますます求められるようになってきている。そのため、本講座は、アクティブラーニングとして授業展開し、（１）「考える」ということとはどういうことなのかを改めて考える講義を行うのみならず、（２）実際にグループで考え抜くという経験を得る機会を提供する。より具体的には、一昨年の東日本大震災を契機として議論が盛んにおこなわれるようになっていく地域コミュニティの「絆」ということをテーマとして設定し、本学近隣の地域コミュニティを歩きながら、人間同士のつながりを育みつつまちを活性化させるにはどうすればいいのか、テキストにあるフォーマットにしたがって具体的な案をグループで企画し、結果を発表する。
到達目標	（１）社会人基礎力、とくに「考える力」とはどのような要素から成り立ち、どうすれば向上させることができるのかを理解できる、（２）「よい」企画とは何かを理解して、それにもとづいて企画を立てることができる、（３）自身の社会人基礎力について評価し、今後どのように向上させていくのか、PDCAできる。
評価方法・フィードバックの方法	【評価方法】（１）授業１日目の課題（３０％）、（２）授業３日目に行うグループ発表（３０％）、（３）授業３日目に作成する個人レポート（４０％） 【フィードバックの方法】課題については、２日目に提出し、３日目に説明・評価して返却する。
評価基準	（１）（２）については、授業への積極的な参加を示すエビデンスとして評価する。 （３）については、本講に参加した結果えることができた学びを多角的にふりかえり、それを他者にもわかりやすく整理し、かつ、レポートの形式を正しく守って書けている場合には「秀」として、形式を守って作成できているものの、十分に多角的にふりかえれていないことがあったり、十分に自分のなかで整理しされておらず他者にわかりにくい表現が散見される場合には「可」として評価する。
テキスト	受講者には文部科学省「平成２０年度戦略的大学連携支援事業」選定「実践力のある地域人材の輩出」プロジェクト共同キャリア教育・FD委員会編（２００９）『パワーアップ・プラクティス講座（地域コミュニティ編）ワークブック こんなまちほしかってん』を無料配布する。
参考書	必要に応じて紹介する。
履修上の注意	（１）本講座は集中講座として開講され、５月２６日（土）に１コマ目から５コマ目を、６月９日（土）に６コマ目から１０コマ目を、６月１０日（日）に１１コマ目から１５コマ目を実施する。 （２）本講座には定員（５０名）がある。定員を超過した場合、抽選を行うことがある。
準備学習＜予習・復習の時間・内容＞	２単位の修得には、２時間×１５回の授業のほかに合計６０時間（４時間×１５回）の事前事後の学習が必要である。 ３０時間の事前学習（予習）と３０時間の事後学習（復習）を目安に学習に取り組んでください。 【予習】関連する内容について情報収集する。 【復習】学んだ内容を再確認する。
オフィスアワー等	授業中ないしは終了時に質問に対応する。または各教員の指定しているオフィスアワーに個人研究室で質問に対応する。 岡島：木曜日１限目 植木：火曜日・水曜日 ４限目 松原：月曜日２限目 小林：木曜日・金曜日１２：１５～１２：４５
備考・メッセージ	（１）本講座は、講義もあるが、グループワークを軸として展開されるものである。グループに対して一人ひとりが持つ役割や責任を意識しながら講座に臨んでください。（２）本講座にはその発展編として「ＰＰ講座Ⅱ（思考編）」という講座がある。この講座はさらに論理的思考力を磨くチャンスを提供する目的で開講され、本学も加盟する南大阪地域大学コンソーシアムを構成するさまざまな大学の学生が一緒に学んで学ぶ科目である。本学の教員も講師陣にはいって指導を担当しているので、ぜひ履修登録することを検討してください（この講座の履修登録については、教務課から毎年秋に掲示がなされるので、それにしたがってください）

授業計画					
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標	
1	演習	岡島・植木	オリエンテーション（５月２６日）	本講座全体の目標や意義が理解できる	
2	演習	岡島・植木	班分け・アイスブレイク（５月２６日）	グループ作業の準備を行う	
3	演習	岡島・植木	外部講師による「滝谷不動駅近隣地域におけるまちづくりの諸活動」と題するレクチャー（５月２６日）	滝谷不動駅近隣地域を理解する	
4	演習	岡島・植木	まちあるき（５月２６日）	「まちあるき」をしてまちの課題を発見する	
5	演習	岡島・植木	まちあるき・マッピング（５月２６日）	「まちあるき」をしてまちの課題を発見する	
6	演習	小林・松原	徹底分析シートへの記入（６月９日）	課題について調べた内容をグループ内で語り合い共有できる	

7	演習	小林・松原	徹底分析シートへの記入（6月9日）	課題を掘り下げて分析することができる		
8	演習	小林・松原	企画シートへの記入（6月9日）	企画を発案することができる		
9	演習	小林・松原	「考える」とは何か」と題するレクチャー（6月9日）	「考える」ことを分析的に捉えることができる		
10	演習	小林・松原	プレゼンテーションシートへの記入・発表（6月9日）	企画案を発表することができる		
11	演習	岡島・植木・小林・松原	「パワーポイントの作成のコツ」と題するミニレクチャー・パワーポイント作成（6月10日）	パワーポイントをコツを理解して作成できる		
12	演習	岡島・植木・小林・松原	発表練習会・教員コメントの付与・「「よい」企画とはなにか」と題するミニレクチャー（6月10日）	「よい」企画とはなにか」を理解する		
13	演習	岡島・植木・小林・松原	パワーポイントの修正（6月10日）	発表するパワーポイントを自己評価し、自分で改善できる。		
14	演習	岡島・植木・小林・松原	最終発表会（外部講師によるコメントを含む）（6月10日）	最終発表を行い、評価内容を理解する。		
15	演習	岡島・植木・小林・松原	ふりかえりセッション（6月10日）	授業内容と自身の活動・成長をふりかえり、文章化することができる		

授業方法					
	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	演習	教室	4	パソコンなどを活用する	90分×15

閉じる